

令和7年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	わしみ ひでとし		
氏名	鷺見 英利		
所属・役職	株式会社官民連携事業研究所 代表取締役 四條畷市 特別参与		
活動拠点	大阪府四條畷市		
略歴	大阪府出身。2002 年ハイアールジャパンホールディングス(株)に社長補佐として入社。青島海爾の日本市場開拓、ブランディング構築に従事。その後、2006 年ジャパンハウジング(株) 設立、取締役役に就任などハイアール等海外企業の日本参入で得た知見、人脈を活かし複数事業を立上げる。2018 年(株) 官民連携事業研究所を設立し現職に就任。 2012 年に設立した(一社) KAI OTSUCHI の取組みにおいて、2015 年総務省地域情報化大賞奨励賞を受賞。また(株) ママスクエアの取組みにおいて 2016 年総務省地域情報化大賞奨励賞を受賞。2017 年四條畷市特別参与に就任。延岡市官民連携アドバイザー、三田市民民連携アドバイザー、京都府スマートシティアクセラレーター、(株) ママスクエア顧問を兼任する。		
地域情報化の専門分野・技術	外資系企業時代に得たスキルと中国、インド、シリコンバレーとのコネクションから海外の最新技術やグローバルな行政システムの情報を得ることで、それを 10 年以上の実業家の経験から人材育成や産業振興からテレワークなど様々な自治体の社会問題解決を推進する具体的な事業づくりが主の専門分野。現在は毎年 100 を超える「子育て」・「環境」・「教育」を中心とした官民連携プロジェクトを世に生み出し、社会課題解決や地域発展を持続可能なモデルとしてスタートアップベンチャーや大企業の事業と重ねて推進している。		
専門分野	EBPM (エビデンスに基づく政策立案) 人材 (外部人材活用) 子育て 地域ビジネス スタートアップ支援 (起業支援)		
自治体向けメッセージ	私は様々な自治体にて年間 100 個以上の官民連携事業を創り出しております。企業の発展と自治体の地域課題解決を重ねて、BtoG ではなく BtoC として持続的な日本社会の課題を解決するプロジェクトを推進していきます。皆さんと善き前例をともに作っていきましょう。		
関連サイト	https://p4rl.com/		
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	・和歌山県有田市にて、12 万ダウンロードを超えるみかん農場育成ゲーム「AR-ARIDA」を製作、「全国青年市長会主催 特色ある施策」優秀賞を受賞 ・奈良県葛城市にて、吉本興業と連携し紙面連動型 AR ナビゲーション「葛城市 AR ナビ」を開発し、様々な市内観光戦略と連動	

		・岩手県大槌町にて、町民だけで構成された法人「一般社団法人 KAI OTSUCHI」を設立、「総務省地域情報化大賞 2015」奨励賞を受賞 ・外国人専門の不動産会社「ジャパンハウジング株式会社」と「一般社団法人 KAI OTSUCHI」が連携制作した iPhone/iPad 用インバウンドに横浜を紹介する絵本アプリが2013年神奈川県横浜市主催アプリコンテスト「YOKOHAMA Ups」最優秀賞受賞 ・株式会社ママスクエアの執行役員として、日本全国にワークスペースとキッズルーム、カフェの一体型であるママのテレワーク、キャリア環境の向上と待機児童対策などを解決する施設を展開、奈良県葛城市のモデルが「総務省地域情報化大賞 2016」奨励賞を受賞
	これまでに 関与した地 域情報化に 関するプロ ジェクト	・京都府京丹後市におけるテレワーク拠点の開設に地場産業と連携し、実証実験におけるアドバイスを行いました ・奈良県葛城市においては、事務局として葛城市と地元業者、市外事業者と連携し、「葛城市新時代クリエイション研究会」として地元の ICT を活用した様々なプロジェクトを創出